

定期報告（ウルグアイ政治・外交・経済：2024年12月）

【ポイント】

内政

- 10日、環境省はアラサティの浄水施設建設を含む水インフラ事業計画に対する許可を与えた。
- 16日、オルシ次期大統領は政権閣僚等人事を発表した。

外交

- 4日、当地来訪中のペトロ・コロンビア大統領は、ラカジェ・ポウ大統領及びオルシ次期大統領と会談し、翌日、ムヒカ元大統領に叙勲を行った。
- 5日、ルーラ・ブラジル大統領はメルコスール首脳会議出席のため当地を訪問し、ムヒカ元大統領に叙勲を行った。

経済

- 5日、経済財務省はサムライ債を発行したと発表した。
- 6日、当地で開催された第65回メルコスール首脳会合において、メルコスール・EU連携協定交渉が妥結した。

【本文】

1 内政

（1）浄水施設建設に関する進展状況

10日、環境省は、首都モンテビデオに隣接するサン・ホセ県のアラサティに建設が予定されている浄水施設を含む一連の水インフラ事業「ネプチューン計画」に対し事業実施の許可を与えた旨発表した。近年、ウルグアイでは干ばつの影響で首都圏における飲料水不足等が問題となっており、水インフラの整備拡大は喫緊の課題であるものの、ネプチューン計画の環境への影響が懸念されてきた経緯がある。次期政権関係者は同計画への懸念を表しており、今後、計画が変更等する可能性もある。

（2）オルシ次期政権閣僚等人事の発表

16日、オルシ次期大統領は、2025年3月1日に発足する次期政権の閣僚等人事を以下のとおり発表した。現地政治アナリストは、与党内派閥のバランスの他、男女比率（14閣僚中5名が女性）及び実務者の起用に配慮した組閣である旨評価した。

- 大統領府長官：アレハンドロ・サンチェス
- 内務大臣：カルロス・ネグロ
- 外務大臣：マリオ・ルベッキン
- 経済財務省大臣：ガブリエル・オドネ

- 国防大臣：サンドラ・ラソ
- 教育文化大臣：ホセ・カルロス・マイーア
- 運輸公共事業大臣：ルシーア・エチェベリ
- 工業エネルギー鉱業大臣：フェルナンダ・カルドナ
- 労働社会保障大臣：フアン・カスティージョ
- 保健大臣：クリスティーナ・ルステンベルグ
- 農牧水産大臣：アルフレド・フラティ
- 住宅土地整備環境大臣：セシリア・カイロ
- 観光大臣：パブロ・メノニ
- 社会開発大臣：ゴンサロ・シビラ
- 環境大臣：エドガルド・オルトウニョ
- 大統領府予算企画庁（OPP）長官：ロドリゴ・アリム

2 外交

（1）ペトロ・コロンビア大統領の来訪

4日、当地訪問中のペトロ・コロンビア大統領は、ラカジェ・ポウ大統領及びオルシ次期大統領と個別に会談した。会見後、オルシ次期大統領は、ペトロ大統領との会談で主にエネルギー及び環境分野に関する意見交換を行ったと述べた。

5日、ペトロ大統領はモンテビデオ郊外のムヒカ元大統領私邸を訪れ、同元大統領のコロンビアの軍事紛争解決における仲介の取組、また、ラテンアメリカ統合への貢献を称え勲章を授与した。両者は、同時期、それぞれの国で元ゲリラ戦闘員であった経歴があり、ペトロ・コロンビア大統領はウルグアイに対する親近感を表した。

（2）ルーラ・ブラジル大統領からの叙勲

5日、第65回メルコスール首脳会議出席のため当地訪問中のルーラ・ブラジル大統領は、高齢かつ癌療養中のムヒカ元大統領の私邸を訪れ、オルシ次期大統領同席の下、ムヒカ元大統領に対する叙勲を行った。ルーラ・ブラジル大統領は「これまで多くの大統領と友情を結んできたが、ペペ・ムヒカは最も秀でた人物だ」と称え、これに対してムヒカ元大統領は「私は賞とか勲章を貰う人間ではない。国民のためにできることをしただけだ」と応え、ルーラ大統領に対し謝意を表しつつ「長生きして、ブラジルの貧困層の人々のために戦って欲しい。」と述べた。

3 経済

（1）サムライ債の発行

5日、ウルグアイ政府は463億円（308百万米ドル相当）分のサムライ債を、大和証券、三菱UFJ証券、モルガン・スタンレー証券、SMBC日興証券を通じて発行した。平均年利率は円建て1.73%で、償還期限は3年から20

年満期。発行の目的は、2024年政府国際資金調達プログラムの補完、2021年発行済みのサムライ債第一回償還期限の更新、また、新たな投資家層の拡大と資金調達先の市場及び通貨の多様化を図り、金融統合及び日本との関係強化であると経済財務省は発表した。また、2024年、ウルグアイ政府は初めて国際市場において4通貨（名目ウルグアイ・ペソ、インフレ連動ウルグアイ・ペソ、米ドル、円）による資金調達を実施し、国家の資金調達戦略に柔軟性と選択肢を与えたと成果を述べた。

（2）メルコスール・EU連携協定の交渉妥結

6日、当地で開催された第65回メルコスール首脳会合において、20年を超える交渉の末、メルコスール・EU連携協定（Acuerdo de Asociacion）の交渉妥結に関する共同声明が発表された。メルコスール加盟国であるウルグアイ、アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ及び欧州委員会は、2023年以降に達成された進展を踏まえ、今後、メルコスール・EU連携協定の署名に向けて、数か月間内に法的精査及び翻訳作業を実施すると決定した旨発表した。

3 要人往来

（1）往訪

- ・ 9日～12日：マツス農牧水産大臣のブラジル訪問
- ・ 11日～14日：ロサーノ住宅土地整備大臣のブラジル訪問
- ・ 12日～16日：パガニーニ外相のチリ訪問

（2）来訪

- ・ 4日：ペトロ・コロンビア大統領
- ・ 5日：ルーラ・ブラジル大統領、ミレイ・アルゼンチン大統領、ペニャ・パラグアイ大統領、アルセ・ボリビア大統領、ムリーノ・パナマ大統領（メルコスール首脳会議）